

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、単位制の利点をいかした年次進行を基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力を育成する。</p> <p>②学び直しや生徒が互いに学び合う学習活動を取り入れるなど、知識・技能の習得のみならず、それらを活用する力を育む魅力ある授業を展開し、生徒の主体的に学ぶ意欲を高める。</p>	<p>①単位制の特性を生かしながら、生徒のニーズに合った、次期学習指導要領の検討を学校全体で取り組む。</p> <p>②「生徒が互いに学び合う学習活動」の実践に努めるとともに、生徒の主体的に学ぶ意欲を高める組織的な授業づくりを推進する。生徒による授業評価等を活用し、学習効果目標を共有する。</p>	<p>①教科代表者会議等を通じて各教科との連携を行いながら、本校のニーズに合った次期学習指導要領の概要案を作成する。</p> <p>②授業研究を行い、その結果を各教科会において検証し、さらなる授業の最適化を目指す。また、「生徒による授業評価」の集計結果をもとに、各教科で改善策等を協議し、実践する。</p>	<p>①本校生徒に適切と思われる、次期学習指導要領の概要案を作成することができたか。</p> <p>②「生徒による授業評価」の集計結果を教科会で十分検討し、教科としての最適化すべき点を明確化し、評価を上げることができたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①学校行事・生徒会活動・部活動をさらに活性化させ、豊かな人間性や社会性を培う。</p> <p>②基本的な生活習慣を確立し、一人ひとりの生徒にきめ細かく対応するとともに、生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえた適切な支援を行う。</p>	<p>①学校行事・生徒会活動・部活動等を通して、心豊かで他者を思いやる人間性をはぐくむとともに、社会貢献やボランティア活動の一層の推進を図る。</p> <p>②学校生活の各場面において、円滑な社会参加に向け、基本的な生活習慣を確立し、社会の一員として自立できる規範意識や公正な判断力をはぐくむ。また、いじめ防止に努める。</p>	<p>①学校行事では、行事を精査しながら生徒が主体的に取り組めるようこれからも根気強くサポートを継続していく。また、学校として組織的な体制を作り、行事を計画する。</p> <p>②基本的な生活習慣の確立を目指し、指導方針の周知を徹底する。支援を要する生徒についての把握に努め、適切に対応する。いじめ防止マニュアルに沿って防止に努める。</p>	<p>①生徒の主体的な活動を適正にサポートし、生徒の自立する力を育み、各行事欠席率を減らすことができたか。</p> <p>②いじめも含めて指導方針についての周知を徹底し、ぶれない生徒指導を継続的に行い、再発指導件数を減少できたか。支援を要する生徒を組織的に支援することができたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①生徒が社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。 ②卒業と進路希望の実現に向けたきめ細かい指導に取り組む。	①生徒が社会的・職業的に自立するため、キャリア教育を充実させ、進路の「自己実現」を支援する。 ②卒業に向けた履修指導と進路実現のための進路支援を充実させる。	①年次主体になりがちな進路指導を外部機関との連携や生徒情報の共有化により組織的に進める。 ②面談週間を履修指導にとどまらず、進路支援の機会としても活用する。	①進路指導を組織的に進め、生徒一人ひとりの適性や能力に応じた支援体制を確立できたか。 ②面談週間については履修指導にとどまらず、進路支援の機会としても機能させられたか。					
4	地域等との協働	①地域との協働・連携による開かれた学校づくりを目指す。	①ホームページや学校説明会等の広報活動の内容をさらに充実させ、開かれた学校づくりを一層進める。 ②災害時の避難場所として、地域と協働した避難活動に取り組む。	①生徒及び保護者、中学生とその保護者など、中心となる閲覧者のニーズを踏まえた情報提供となるようホームページ等を改善する。 ②「てんでんこ湘南」の企画を見直し、活動内容を地域の方々に周知する。	①生徒及び保護者、中学生とその保護者など、中心となる閲覧者のニーズを踏まえた情報提供を機に応じて行い、迅速かつ的確な情報を伝えることができたか。 ②地域の方々と災害時の対応について共同作業を行なうことができたか。また、その活動を近隣の方々に伝えられたか。					
5	学校管理 学校運営	①社会から信頼される学校づくりを推進し、事故・不祥事の防止を徹底する。	①事故・不祥事防止について不断の意識徹底を図り、事故・不祥事の根絶に努めるとともに、保護者、県民にも丁寧に対応する。	①日常業務で注意意識が薄れぬよう、定期的な事故不祥事防止会議を開催する。	①事故不祥事防止会議を適正に実施し、事故不祥事をなくすことができたか。					